

令和4年度

事業報告書



社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

令和4年度網走市社会福祉協議会事業報告書

はじめに

令和2年1月より続いている新型コロナウイルス感染症によって、本会が行なう地域福祉事業及び介護保険事業において、人との接触を避ける機会が増えたことが影響し、これまでに引き続き様々な支障をきたしました。

地域福祉事業を中心とする社協事業につきましては、コロナ禍の影響があったことは否めませんが、「第7期地域福祉実践計画」を基調として、地域福祉への理解や意識を高め、地域住民や関係団体等と連携し、地域における多様な福祉活動を推進し、地域の福祉力を高めるよう努めてまいりました。

また、介護事業においては、老人デイサービスセンター等において、昨年に引き続き新規利用者の獲得に苦戦したこと等が要因となって、非常に厳しい運営状況となりました。

一方、生活福祉事業においては、コロナ禍の影響を受けて、生活に支障を来す方の相談が続きました。北海道社会福祉協議会による新型コロナウイルス感染症の影響により減収した世帯への貸付を令和4年9月末まで実施し、また償還にかかわる事務を行ないました。

I. 地域福祉事業の推進

1. 網走市地域福祉会議の開催

網走市における地域福祉推進を図るために、多様な関係機関の情報共有の場として、網走市地域福祉会議を開催しました。

■代表者会議

開催日時	◆第1回：令和4年5月20日 出席者：網走市3名、包括2名、民連1名、町連1名、老連1名 生活支援コーディネーター1名、社協4名
	◆第2回：令和5年2月8日 出席者：網走市4名、包括2名、民連1名、町連1名、老連1名 生活支援コーディネーター1名、社協3名

2. 出前講座事業

地域住民の福祉への理解を推進していくため、社協職員等が地域へ出向き講話や体験学習に取り組みました。

事業実績	実施回数（依頼実績）28回／受講人数717名 延べ派遣職員数47名／延べ協力者56名
------	---

※令和3年度実績 実施回数（依頼実績）33回／受講人数1,036名
延べ派遣職員数49名／延べ協力者58名

3. 日常生活のちょこっとお手伝い事業

日常生活を営むのに支障があり支援が必要な高齢者や障がいのある方等が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、日常生活の中で起こる軽微な困りごとの解消を、住民参加型による有償の相互支援活動で行う事業を、令和3年6月1日より実施しています。

■登録会員数

会員区分	利用会員	サポーター会員	合計
会員数	27名	84名	111名

■相談・事前打ち合わせ件数

年度	相談件数	事前打ち合わせ件数
令和4年度	170件	17件

■活動内容集計

活動内容	回数
ゴミの分別	0
電球交換	0
部屋の模様替え（軽い家具の移動等）	0
衣類の整理	2
簡単な掃除（生活空間以外の掃除：掃除機がけ、仏壇、窓ふき、換気扇等）	200
安否確認	0
洗濯作業（洗濯・洗濯物干し・洗濯物取り込み等）	0
買い物代行	13
ペットの世話や環境整備	0
書類の代読	0
代読・代筆（自筆が必要なものは除く）	0
書類の確認・作成	0
お話相手	165
病院への薬取り	0
市役所等への書類提出の代行	0
その他（要相談：対応可能なものに限る）	5
合計	385

■支え合いサポーター養成研修

開催日時	第1回：令和4年 5月18日 参加者： 4名 サポーター登録 4名 第2回：令和4年 7月 5日 参加者： 11名 サポーター登録 8名 第3回：令和4年 9月11日 参加者： 4名 サポーター登録 4名
------	--

4. ボランティアセンター活動実績

網走市のボランティア活動推進のため各種事業に取り組みました。

■ボランティア登録幹旋事業

【ボランティア登録者数】

登録区分	会員数						差異
	令和4年3月31日時点			令和5年3月31日現在			
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
個人	62名	159名	221名	60名	144名	204名	△17名
団体	304名	621名	925名	297名	662名	959名	△34名
合計	1,146名			1,163名			17名

【ボランティア幹旋数】

実績	派遣回数：30回、活動実人数：46名、活動延べ人数：69名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ■オピッタの家…ボランティア派遣 ■お話広場えがお…似顔絵ボランティア ■保健センター…ナチュラルベビークッキングの託児 ■社協デイサービスセンター…施設慰問活動 ■子育てサポートセンター…講習会での託児 ■いせの里…屋外リハビリの付き添い ■生活サポートセンター…フードドライブ 食品仕分け ■地域活動支援センターふれ愛…ボランティア派遣

■ボランティア講座「つながろう講座」

ボランティア・市民活動への理解と担い手育成を目的としたボランティア講座を開催しました。

詳細	<p>日 時：令和4年9月10日（土）13：30～16：45 場 所：エコーセンター 3階 学習室A～C 講 師：ワークショップデザイン describe With 代表 高橋優介 氏 内 容：講演「みんなで描く、ジモト・網走～地域づくりをSDGsで～」 ワークショップ①「SDGsボードゲーム」 ワークショップ②「CHANGE FOR THE BLUE」 参加者：20名、事務局2名</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの考え方、なぜ取り組みが必要なのかを学ぶことができた。 また、日本や世界の問題・課題を通じて、SDGs17の目標のどれ当てはまるのか説明していただいたので、参加者も理解しやすかったと感じる。 ・今回の講座では、SDGsの理解を深めるだけでなく、ワークショップを通じて参加者同士がコミュニケーションを取りながら楽しく学べたと感じる。

■ヤングボランティア育成事業の開催

若い世代のボランティア活動者の育成及び確保を目的とした研修会等を開催しました。

詳細	<p>①ヤングボランティア育成事業 担当教諭会議 日 時：令和4年 5月24日（火） 16：20～17：20 参加者：桂陽高校 小野塚、井上 南高定時 松橋、事務局3名</p>
	<p>②高校生が考える！作る！披露する！クリスマス交流会 企画会議：令和4年10月17日（月） 9：30～12：15 参 加 者：高校生13名、学校教諭3名、ヤンボラOBOG3名、社協3名 開 催：令和4年12月17日（土） 8：30～14：00 参 加 者：子ども31名、保護者21名、高校生17名 学校教諭5名、ヤンボラOBOG8名、社協3名</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・普段のボランティアとは違う、自ら企画、準備、運営というプロセスは高校生にとって良い経験となったと感じる。 ・今年で最後の参加となる生徒から、卒業後もヤンボラ事業に関わりたいとの声があった。企画を手掛ける側から高校生をサポートする側になる良い循環が生まれていると感じている。

ヤンボラ事業に関わった高校生が、学校卒業もボランティア活動を行えるよう若い世代のボランティアグループの組織化を図りました。

詳細	<p>第1回：令和4年 9月29日（木）18：30～20：00 参加者6名 第2回：令和4年10月17日（月）18：30～20：00 参加者5名 第3回：令和4年12月 6日（火）18：30～19：40 参加者5名 第4回：令和5年 1月27日（金）18：30～20：15 参加者6名 第5回：令和5年 3月24日（金）19：00～20：30 参加者6名</p>
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤンボラOBOGとしてクリスマス交流会に参加してもらい、運営の補助や高校生のサポートなどに協力をいただいた。 ・ヤンボラOBOGを中心としたボランティアグループ「ミライエ」の発足に向けた話し合いを実施。令和5年4月から活動を開始予定。

■市民参加促進事業「つながろう！市民誰でも清掃活動」

地域住民が参加しやすい清掃活動を通じて、ボランティア育成を図ることを目的としています。

開催日時	第1回：令和4年 5月14日（土）8：30～9：40 参加者134名 第2回：令和4年 7月25日（土）※天候不良の為、中止 第3回：令和4年10月29日（土）8：30～9：40 参加者42名
成 果	毎回参加をしてくれる団体や個人が多く、清掃活動は誰でも参加がしやすいボランティア活動として定着してきたと感じる。第1回開催では、過去最大の参加人数となった。

■ボランティア情報誌「夢ポケット」の発刊（偶数月15日発刊）

定期的にボランティアの情報を発信するためにボランティア情報誌を発刊し、登録ボランティア及び市内公共施設へ郵送や社協ホームページに掲載し、ボランティアの推進を図りました。

実 績	120号：令和4年 4月15日（金）発刊 / 630部発刊 121号：令和4年 6月15日（水）発刊 / 640部発刊 122号：令和4年 8月15日（水）発刊 / 650部発刊 123号：令和4年10月14日（金）発刊 / 650部発刊 124号：令和4年12月21日（水）発刊 / 650部発刊 125号：令和5年 2月15日（水）発刊 / 650部発刊
-----	--

■お話広場えがおの開催

幅広い世代間の交流、障がいの有無を問わない誰もが気軽に集える場を提供することで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目的としています。

開催日時	◆毎月第2・第4火曜日11：00～15：00 会場：網走市総合福祉センター 【令和4年度実績】 開催回数：24回 来 場 者：1日平均約30名 運営協力：市民活動サポーター、登録ボランティア（保健師、看護師）
内 容	・ 買い困難者対策として、市内農家と連携し「野菜即売会」を実施。 ・ 高齢者の健康維持を目的に「脳年齢・血管年齢測定会」や「クイックアーム・クイックキャッチ測定会」を実施。

※その他、ポッチャ体験・物づくり・お楽しみ会など様々な企画を実施しています。

■市民活動サポーターの設置

網走市社会福祉協議会の事業への協力及びボランティア活動者のサポートとして、市民活動サポーターを設置しています。

内 容	市民活動サポーター人数：7名 ①定期ミーティングの開催 毎月第1水曜日11：00～12：00 ②お話広場えがおの運営 ③情報誌夢ポケットの発送準備 他
-----	--

■災害ボランティアセンター 3者協定連絡会議

網走市、網走青年会議所、網走市社会福祉協議会の3者は、災害時及び防災活動に関する活動が円滑に運営されるよう連絡会議を開催しています。災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの策定に向けた協議を進めて参りました。

内 容	第1回：令和4年 6月27日（月）13：30～15：00 第2回：令和4年11月 1日（火）13：30～15：15 第3回：令和5年 3月 1日（水）13：30～14：30
-----	--

網走青年会議所定例会において、災害ボランティアセンターとの連携について説明を致しました。

内 容	網走青年会議所定例会 日 時：令和5年 3月 2日（木）18：45～19：00 参加者：山中課長、大橋
-----	---

網走地区災害ボランティア組織連絡会議に参加しました。

内 容	令和4年度網走地区災害ボランティア組織連絡会議 日 時：令和4年12月 7日（水）13：30～16：30 参加者：山中課長、大橋
-----	--

■東日本大震災復興の狼煙パネル展示

1日防災学校の実施に合わせて、「復興の狼煙」等のパネルを1週間展示しました。

展示場所：網走小学校

展示期間：令和4年8月29日（月）～令和4年9月5日（月）まで

■ボランティア活動保険の加入促進

網走市では、市民活動やボランティア活動に携わる「ボランティア登録者」に対して、ボランティア活動保険の掛金を全額助成しており、本会で加入受付事務を行いました。

○令和4年度ボランティア保険加入者数（市助成分）1,173人 掛金1人350円

■ボランティア活動に関わる保険加入の受付

- ・ボランティア活動保険【対象：国内における自発かつ無償のボランティア活動】
- ・ボランティア行事用保険【対象：国内で行うボランティア活動に関する各種行事】
- ・福祉サービス総合補償【対象：在宅福祉・地域福祉サービス、介護保険サービス など】
- ・送迎サービス補償【対象：送迎サービス】

■ボランティアガイドブックの作成及び配布

ボランティア活動をする際のポイントや、網走市内におけるボランティア活動を紹介するガイドブックを作成致しました。

■就労者のボランティア活動促進

就労者のボランティア活動実践者を増やす取り組みとして、商工会議所と連携して、周知チラシの配布及びポスター掲示を行いました。

実施日：令和4年5月、令和5年2月

方 法：①商工会議所で月1回発刊される会報誌にチラシを同封

②市内各施設、店舗等にポスターを掲示

■外部研修の参加

内 容	研 修 名：令和4年度オホーツク圏市民活動ボランティアフォーラム ※YouTubeでの動画配信（令和5年3月配信） 実践発表：次世代の担い手育成と活動成果 ～ヤングボランティア事業の取り組み～ 発 表 者：地域福祉課 課長 山中 淳
-----	--

内 容	令和4年度網走市学校支援地域本部事業 実行委員会 第1回：令和4年10月27日（木） 参加者：山中課長
-----	--

内 容	令和4年度網走市市民活動等推進懇話会 第1回：令和4年 8月23日（火） 参加者：山中課長 第2回：令和5年 2月27日（月） 参加者：山中課長
-----	--

5. 子育てサポートセンター事業（受託事業）

育児の援助を「受けたい方（依頼会員）」と「行いたい方（協力会員）」が会員となり、子育てサポートセンターが仲介して会員同士で支え合う援助事業に取り組みました。

■登録会員数

会員区分	会員数		差異
	R4.3.31 現在	R5.3.31 現在	
依頼会員	143名	126名	△17名
協力会員	90名	91名	1名
両方会員	15名	16名	1名
合計	248名	233名	△15名

■活動内容集計

活動内容	回数
保育施設等の開始前・終了後の預かり	0
学校開始前・終了後の預かり	9
子どもの病気時の預かり	1
児童館の開始前・終了後の預かり	0
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事等の際の預かり	3
親や他の子どもの通院や検診等の際の預かり	2
保護者の就労や求職の際の預かり	136
買い物や外出の際の預かり	3
預かり援助その他	0
自宅や祖父母宅への送迎	4
保育施設等への送迎	35
病院への送迎	0
習い事への送迎	249
学校への送迎	20
親の職場への送迎	7
送迎援助その他	0
合計（前年度389回）	469

■相談件数

年度	件数
令和2年度	420件
令和3年度	383件
令和4年度	351件

■事前打ち合わせ件数

年度	件数
令和2年度	39件
令和3年度	19件
令和4年度	18件

■協力会員講習会

開催日時	内容
第1回：令和4年 5月17日	参加者申込みがなかったため中止
第2回：令和4年 8月24日	参加者3名
第3回：令和4年 11月17日	参加者申込みがなかったため中止
第4回：令和5年 2月15日	参加者申込みがなかったため中止

■会報「あおぞら」発行

実績	内容
第31号（春・夏号）	令和4年6月15日発行 / 500部発行
第32号（秋・冬号）	令和5年1月16日発行 / 500部発行

■スキルアップ講習会の開催

開催日時	◆第1回：令和4年 7月20日 内容：知っておきたい応急手当！！ 参加者： 6名
	◆第2回：令和4年10月28日 内容：乳幼児の事故防止の環境作り 参加者： 11名

6. 生活支援体制整備事業（受託事業）

「生活支援体制整備事業」の取り組み6年目となる令和4年度においては、前年度に引き続き、地域の関係者の方々と十分な協議を行い、地域の「考え方」「自主性・主体性」「スピード」等、意向をお聴きしながら第二層の基盤整備や住民主体の取り組みの推進に努めて参りました。

前年度からは回復したものの、コロナ禍の影響もあり協議体の中止や延期をせざる得ない状況もありました。

また、未設立地区関係者へ協議体設立に向けたアプローチを継続的に行い設立につながった地区もあるが、地区の実情により設立に至らなかった地区については、「支え合いの地域づくり研修会」への参加を促し、協議体設立への理解促進に努めました。

網走市社会福祉協議会が取り組む「地域福祉の推進」を実践する職員（コミュニティソーシャルワーカー：CSW）を地区担当職員として配置し、地域福祉推進の一環として、第2層協議体の運営支援及び設立支援を進め、併せてCSWのスキルアップも進めて参りました。

1. 社協組織体制の構築及び強化

(1) 地区担当職員の配置

社協が取り組む「地域福祉の推進」を実践する職員（コミュニティソーシャルワーカー：CSW）を対象地区の担当職員として配置。地域福祉の推進の一環として、第1層生活支援コーディネーターと連携を図りながら、第2層協議体の設立及び運営支援を行いました。

対応内容	・第2層協議体設立に向けたアプローチ ・第2層協議体の運営支援（会議や事業実施等）
対象地区	17地区（地区連をベース）
地区担当	4名（地域福祉係職員） ※参考資料①参照

(2) 第1層生活支援コーディネーターと地区担当職員（CSW）との情報共有

第1層生活支援コーディネーター及びCSWが担当地区において取り組みを進められるよう、定期的に情報共有や学習を行いました。

実施日	年12回 ※毎月1回定期開催（月末）
対象職員	・第1層生活支援コーディネーター：1名 ・CSW：4名
内容	CSW連絡会議（偶数月：地域福祉係・生活サポートセンター合同／奇数月：地域福祉係） ・CSWのスキルアップを目的とした学習の場 ・「進捗状況・進め方の確認」「情報共有」「方向性の確認」等

(3) 生活支援体制整備事業に関する研修会への参加

研修会に参加し、他市町村の生活支援コーディネーターとの情報交換等を行いました。

内 容	<p>○生活支援コーディネーター養成研修「フォローアップ研修」 日時：令和4年9月8日（木）10：00～ 場所：津別町 内容：「サロン活動見学」「事例報告」「ワークショップ（情報交換）」 参加：山中（第1層SC）、家藤（CSW）、伊奈（CSW）</p> <p>○第2回さわやかふれあいねっと2022（オンライン会議） 日時：令和4年12月20日（火）15：00～17：00 内容：「活動事例紹介」「グループワーク（情報交換）」「全体会」 参加：山中（第1層SC）</p> <p>○令和4年度生活支援コーディネーター連絡会議（オンライン会議） 日時：令和5年1月30日（月）13：30～16：00 内容：「北海道における生活支援体制整備事業の状況（行政説明）」 「今後の生活支援コーディネーター活動の展開（意見交換）」 参加：山中（第1層SC）</p> <p>○令和4年度生活支援コーディネーター養成研修〔フォローアップ編〕（オンライン会議） 日時：令和5年2月13日（月）10：00～16：00 内容：「他市町村の事例紹介」「グループワーク（意見交換）」「座談会」 参加：山中（第1層SC）</p> <p>○令和4年度生活支援コーディネーター養成研修〔フォローアップ編〕（オンライン会議） 日時：令和5年2月17日（金）10：00～17：00 内容：「他市町村の取り組み事例」 参加：大橋（CSW）、家藤（CSW）、伊奈（CSW）</p> <p>○令和4年度オホーツク管内生活支援コーディネーター情報交換会 日時：令和5年2月24日（金）13：00～15：30 場所：網走市（オホーツク・文化交流センター 大会議室） 参加：山中（第1層SC）、大橋（CSW）、家藤（CSW）、伊奈（CSW）</p>
-----	---

（4）担当職員のスキルアップ

①生活支援体制整備事業・コミュニティソーシャルワーカー先進地視察研修

第2層生活支援コーディネーター及びコミュニティソーシャルワーカーを配置し生活支援体制整備事業や地域福祉の推進に取り組んでいる社会福祉協議会を訪問し、運営方法や活動事例など、様々な情報提供いただき意見交換を行いました。

日 時	令和4年10月19日（水）～20日（木）
訪問先	10月19日：苫小牧市社会福祉協議会 10月20日：北広島市社会福祉協議会
参加者	山中（第1層SC）、中野（CSW）、大橋（CSW）、
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業の取り組みについて ・コミュニティソーシャルワーカーの取り組みについて

②地区担当者スキルアップ研修の実施

地区担当者が、円滑に取り組むを進めていくために必要な知識やスキルを学ぶ研修を開催しました。

名 称	生活支援体制整備事業 地区担当者スキルアップ研修
参加者	14名 <ul style="list-style-type: none"> ・第1層生活支援コーディネーター：1名 ・CSW：4名 ・網走市地域包括支援センター職員：5名 ・その他関係者：4名
内 容	<p>ファシリテーション技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の円滑な進行 ・目的や課題の共通認識 ・合意形成や相互理解のサポート ・参加者の活性化 ・課題解決手法 ・協働の促進 等

2. 第1層の取り組み

(1) 第1層協議体の運営

第1層協議体を担う「網走市地域福祉会議」を開催し、情報提供や協議を行いました。

【網走市地域福祉会議 代表者会議】

回	開催日時	場所	出席者
第1回	令和4年5月20日(金) 13:30~	総合福祉センター 中集会室	14名
第2回	令和5年2月 8日(水) 13:30~	総合福祉センター 中集会室	14名

(2) 住民への情報発信

住民が主体となり、住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりの推進に向け、本事業の取り組みへの理解を深めることを目的に住民への周知・啓発を行いました。

実 施	<p>① FMあばしりを活用した事業周知(随時実施) 放送日: FMあばしり 社協の「ほっと便」内(毎月第1木曜日9:00~9:15)</p> <p>② 社協広報誌「ふれ愛めーる」(年2回発行)への掲載 掲載内容: 住み慣れた地域で生活していくための豆情報 * 117号(令和4年7月発行): 「ふまねっと網走」の紹介 * 118号(令和5年3月発行): 「高齢者お役立ち情報」の紹介</p> <p>③ 社協ホームページ内「生活支援体制整備事業」ページへの情報掲載 掲載情報: 随時更新 掲載内容: 生活支援体制整備事業に関する固定情報の発信</p> <p>④ 社協フェイスブックへの取り組み内容の記事掲載 掲載情報: 随時更新 掲載内容: 生活支援体制整備事業に関するリアルタイムな情報発信</p>
-----	--

3. 第二層の取り組み

(1) 支え合いの地域づくり研修会の開催

地域づくりへの理解を深め、住民が主体となり安心して暮らせる環境づくりを進めるために、他市町村での取り組み事例や意見交換、他地区との交流等を通じ、活発な協議体運営を目指し研修会を開催しました。

開催日時	令和5年2月25日(土) 10:00~12:00
開催場所	オホーツク・文化交流センター 大会議室
参加対象	第2層協議体メンバー及び当該地区の地域づくりに興味のある方 第2層協議体未結成地区の関係者
参加人数	参加者(78名)、スタッフ関係者(9名)、講師・協力(5名)
内 容	「講話」「他市町村の事例紹介」「意見交換」「生活支援体制整備事業の進め方」 講師: 公益財団法人さわやか福祉財団 新地域支援事業 担当リーダー 澤 美杉 氏 協力: さわやか福祉財団北海道ブロック インストラクター 山本純子氏、丸藤競氏、戸田文香氏、鍵政弘子氏

(2) 第二層の運営サポート

地区を担当する職員として「CSW」を配置し(参考資料①参照)、第2層協議体と連携をとりながら、協議体の「考え方」「自主性・主体性」「スピード」を尊重し、住民主体の取り組みを進めていけるようサポートを行いました。

実施	随時 ※取り組み実績は（３）の地区別取り組み実績詳細を参照
内容	住民主体の「協議体の運営」「地域課題の解決」等のサポート

（３）第二層づくりに向けた地域へのアプローチ

新型コロナウイルスの状況を踏まえ、第２層協議体未組織地区及び未着手地区の関係者と話し合いを行い、地域の意向を確認しながら協議体設立に向け継続的にアプローチを行ってきました。

※各エリア圏域における取り組み内容の詳細は６ページ～１７ページに掲載しています。

【協議体設置状況】

○地区で協議体または話し合いの場が設立済み： １６地区（前年度 １５地区）

○地区で協議体または話し合いの場の設立を打診中： ４地区（前年度 ６地区）

○地区関係者と協議の結果、現段階では「取り組みは行わない」との回答あり： ９地区（前年度 ８地区）

【協議体の会議開催】

□地区の関係者等との打合せ： ８２回（前年度 ６１回）

■協議体メンバーを中心とした会議等（開催予定・延期も含む）： ３２回（前年度 ２２回）

★取り組み： １１回（前年度 ５回）

地区別取り組み実績詳細

取り組み内容詳細（□：関係者との打合せ等／■：地区の協議体・話し合いの開催／★：取り組み等）

①西地区（大曲・三眺）

西地区協議体の役目を担う「西地区地域活動推進協議会 高齢者部会」で協議を重ね進めてきた。

取り組みとしては、西コミュニティセンターを活用し、住民同士がつながれる環境づくりをテーマに協議や取り組みが進められ「コミュニティカフェ いこいの☺」を開設することができた。また、高齢者や障がい者が多い地域性も踏まえ、防災部会と高齢者部会が連携し、福祉の要素も盛り込んだ「避難訓練」も実施した。

□高齢者部会長との打合せ 日時：令和４年４月 ５日（火） 内容：「今後の進め方」「開催日程の再調整」等
□高齢者部会長との打合せ 日時：令和４年４月２２日（金） 内容：「今後の進め方」「開催日程の再調整」等
□高齢者部会長との打合せ 日時：令和４年５月２６日（木） 内容：「令和４年度高齢者部会事業計画」「地域コミュニティカフェの開催」等
■西地区地域活動推進協議会 高齢者部会（協議体） 日時：令和４年６月１７日（金） １８：３０～ 内容：「高齢者部会の活動」「コミュニティカフェ」「コープさっぽろ移動販売ルート拡大」等 地域コミュニティカフェ「いこいの☺」令和４年８月１日開設
□高齢者部会長との打合せ 日時：令和４年６月２４日（金） 内容：「次回協議体開催日程調整」「地域コミュニティカフェいこいの☺について」等
■西地区地域活動推進協議会 高齢者部会（協議体） 日時：令和４年７月１１日（月） １８：３０～ 内容：「コミュニティカフェの周知」等
★「コミュニティカフェいこいの☺」開設 日時：令和４年８月１日（月）～ 内容：誰でも気軽に相談できる場・地域交流・語らいの場として開設
□高齢者部会長との打合せ 日時：令和４年８月１９日（金） 内容：「コミュニティカフェいこいの☺状況確認」等

<p>★「防災」×「福祉」大曲地区避難訓練 ※「防災部会」が中心に企画実施を行い高齢者部会と連携して開催。 日時：令和4年10月7日（金）10：00～ 内容：車いす介助方法の説明、避難訓練（徒歩、車いす介助）等</p>
<p>□高齢者部会長と打合せ 日時：令和4年10月28日（金） 内容：「今後の進め方」「コミュニティカフェいこいの④状況確認」等</p>
<p>■西地区地域活動推進協議会 高齢者部会（協議体） 日時：令和5年1月26日（木）18：30～ 内容：「令和4年度事業の進捗状況」「コミュニティカフェの状況説明」「今後の進め方について」「西コミセンロビーを活用した取り組みの検討」等</p>
<p>□高齢者部会長と打合せ 日時：令和5年3月20日（月） 内容：「次回協議体開催日程調整及び協議内容の検討」等</p>

②北地区

北地区では、様々な地域課題の中から「担い手不足に伴う地域活動の存続」に対する課題の声が多く挙げられ、地域の基盤である町内会の連携強化を目指し取り組みを進めることを予定していた。

しかし、より充実した協議を行える体制づくりが急務となり、協議体の再構築を進めることとなった。

<p>□地区連会長と打合せ 日時：令和4年4月25日（月） 内容：「協議体開催日程調整」等</p>
<p>□地区連会長と打合せ 日時：令和4年5月11日（水） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」「今後の進め方」等</p>
<p>■みんなつながる～や！KITAMACHI未来（協議体） 日時：令和4年6月29日（水） 内容：「地域課題の検討」「住民主体でできる取り組みの検討」等</p>
<p>□地区連会長と打合せ 日時：令和4年12月19日（月） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」「今後の進め方」等</p>
<p>□地区連会長と打合せ 日時：令和5年2月24日（金） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」等</p>
<p>■みんなつながる～や！KITAMACHI未来（協議体） 日時：令和5年3月30日（木） 内容：「協議体の再構成」「北地区の町内会を集めた意見交換会の実施内容検討」等</p>

③向陽ヶ丘地区

向陽ヶ丘地区では、昨年度から買い物弱者対策として「移動販売車カケルの運行」が開始された。利用促進を踏まえより多くの方にご利用いただけるよう利用状況や改善点等の確認の上、リーフレットを配布し、住民への再周知を行った。

また、地域課題の把握を行い、課題解決につなげられるよう住民への「暮らしのアンケート調査」を実施。そこから見えてきた課題の検証を行いながら、協議体を中心に課題解決に向けた協議を進めている。

<p>□地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年6月21日（火） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」等</p>
<p>■協議体 日時：令和4年7月20日（水） 内容：「他地区の進捗状況」「移動販売車カケルの再周知」「アンケート調査の実施検討」等</p>
<p>□地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年8月30日（火） 内容：「協議体開催の日程調整」等</p>
<p>■協議体 日時：令和4年10月5日（水） 内容：「移動販売車カケルの再周知」「暮らしのアンケート調査の実施」等</p>

<p>★移動販売車カケルの再周知 日時：令和4年10月25日～10月31日 内容：「町内会を通じ住民へのチラシの再配布」「向陽ヶ丘住民センターへのポスター掲示」</p>
<p>★暮らしのアンケート調査 日時：令和4年10月25日～11月18日 内容：住民が抱える地域課題を把握し、問題解決に向けた取り組み検討を行うアンケート調査 調査：向陽ヶ丘地区8町内会・区会を通じてアンケート調査用紙を配布 回収：郵送（返信用封筒） ※配布数：860通／回収数：173通／回収率：20.12%</p>
<p>□地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年1月11日（水） 内容：「協議体開催の日程調整（役員の日程調整）」等</p>
<p>□地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年1月17日（火） 内容：「協議体開催」「協議内容について」等</p>
<p>■協議体 日時：令和5年2月8日（水） 内容：「移動販売車カケルの再周知実施後の状況確認」「暮らしのアンケート調査の結果報告」等</p>

④台町地区

台町地区では、令和元年度から継続的に取り組み実施に向けた打診を行ってきたが、地区連活動が機能しておらず、現段階では取り組みは行わないこととなった。今後も継続的に状況確認等も行っていく。

<p>□地区連会長と打合せ 日時：令和4年4月5日（火） 内容：「協議体設立に向けた提案」等</p>
<p>□台町地区関係者との話し合い 日時：令和4年4月13日（水） 内容：「台町地区における取り組み実施に向けた関係者との意見交換」等</p>
<p>□地区連会長と打合せ 日時：令和4年5月26日（木） 内容：「台町地区の進捗状況の確認」「今後の進め方」等</p>
<p>□地区連副会長と打合せ 日時：令和4年7月28日（木） 内容：「台町地区の進捗状況の確認」「今後の進め方」等</p>
<p>□地区連会長と打合せ 日時：令和4年10月5日（水） 内容：「台町地区における取り組みの実施」等 …地区連の活動ができない状況である。生活支援体制整備事業の必要性は認識しているが、現段階では台町地区の基盤整備を優先するため、現状取り組むことは難しく、体制が整った時点で改めて検討の場を設けることとなった。</p>

⑤鉄南地区

鉄南地区は、「5年後の鉄南地区をきずく懇談会（協議体）」が中心となり地域課題の解決に向けた協議や取り組みを進めている。

高齢化が進む中、気軽に相談できる環境づくりとして地域内で「認知症カフェ」開設を企画・実施した。

また、地域活動への「担い手不足」が深刻化する中、住民どうしがつながり、地域活動への理解促進を図ることを目指し「ゲーム交流会」を企画・実施を行い、新たな層の参加も見られ世代間交流も深まった。

<p>□地区連会長と打合せ 日時：令和4年4月22日（金） 内容：「協議体日程調整」「協議内容の検討」「今後の進め方」等</p>
<p>■5年後の鉄南地区をきずく懇談会（協議体） 日時：令和4年5月27日（金） 内容：「リーフレット配布の振り返り」「抽出課題を踏まえた取り組みの検討」 「高齢者全般の健康相談の場づくりの検討」等</p>

<input type="checkbox"/> 地区連会長と打合せ 日時：令和4年 6月10日（金） 内容：「次回開催日程調整」「協議内容の検討」「今後のスケジュール」等
<input type="checkbox"/> 地区連会長と打合せ 日時：令和4年 7月 1日（金） 内容：「協議体の議題確認」「今後の進め方」等
★認知症カフェの開催 日時：令和4年 7月25日（月）10時～ 場所：鉄南会館 参加：26名
<input type="checkbox"/> 地区連会長と打合せ 日時：令和4年 8月16日（火） 内容：「協議体参加状況の確認」「協議体の進め方」「配布資料の確認」等
■5年後の鉄南地区をきづく懇談会（協議体） 日時：令和4年 8月19日（金） 内容：「抽出課題を踏まえた取り組みの検討」等
■5年後の鉄南地区をきづく懇談会（協議体） 日時：令和4年11月 9日（水） 内容：「地域交流事業の実施検討」等
<input type="checkbox"/> 地区連会長と打合せ 日時：令和4年12月22日（木） 内容：「ゲーム交流会の周知用チラシの確認」「今後の進め方」等
<input type="checkbox"/> 地区連会長と打合せ 日時：令和5年 1月10日（火） 内容：「ゲーム交流会のチラシ確認」「住民への配布方法の検討」等
★鉄南地区ゲーム交流会 日時：令和5年2月18日（土）10：00～ 場所：鉄南会館 内容：「地域住民の交流の場づくり」「地域活動への参加協力への理解」 参加：44名（乳幼児～高齢者まで）

⑥呼人地区

呼人地区では、地域の状況も大きく変化しており、話し合いの場の再構築が必要となっている。地域の実情を踏まえ、再開に向けて今後も継続的に地域の関係者へ相談をさせていただくこととする。

<input type="checkbox"/> 地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年 1月 5日（火） 内容：「呼人地区における協議体の進め方」等
--

⑦東部地区

東部地区では、地区が広範囲であり地域の状況等も大きく異なることから、地区内にある町内会・区会に意向確認を行った結果、2つのエリアで進めることとなった。

〔藻琴町内会〕

藻琴町内会では、地域の関係者との話し合いを重ね、本年度より協議体が設立され、話し合いがスタートした。協議体で地域課題と取り組みの検討を行った結果、高齢化が進む中、住民がいきいきと暮らせる地域づくりを目指し、「健康づくり・生きがいつくり」をテーマに話し合いを進めていくこととなった。

<input type="checkbox"/> 藻琴町内会長と打合せ 日時：令和4年 4月22日（金） 内容：「感染拡大に伴う協議体開催延期」等
<input type="checkbox"/> 藻琴町内会長と打合せ 日時：令和4年 5月 9日（月） 内容：「協議体開催日程調整」「協議体の進め方」等
■協議体 日時：令和4年6月8日（水） 内容：「藻琴町内会の取り組み検討（住民の健康づくり・生きがいつくり）」「今後の進め方」等
<input type="checkbox"/> 藻琴町内会長と打合せ 日時：令和4年 9月 9日（金） 内容：「藻琴町内会の状況確認」「協議体開催日程の検討」等
<input type="checkbox"/> 藻琴町内会長と打合せ 日時：令和4年 9月20日（火） 内容：「藻琴町内会の状況確認」「協議体開催日程の検討」等

藻琴町内会長と打合せ

日時：令和4年11月28日（月） 内容：「今後の進め方」等

〔鱒浦町内会〕

鱒浦町内会では、地域の関係者との話し合いを重ね、本年度より協議体が設立され、話し合いがスタートし、協議体の中で地域課題の抽出を行いました。高齢化が進む中、地域課題の1つとして「移動困難者対策」をテーマにどこバス説明会の開催に向けた話し合いを進めている。

鱒浦町内会長と打合せ

日時：令和4年4月22日（金） 内容：「感染拡大に伴う協議体開催延期」等

鱒浦町内会長と打合せ

日時：令和4年5月11日（水） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容及び進め方」等

■協議体開催

日時：令和4年6月15日（水）

内容：「事業概要の説明」「地域課題の抽出」「他地区の取り組み紹介」「今後の進め方」等

鱒浦町内会長と打合せ

日時：令和4年9月20日（火） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容及び進め方」の等

■協議体開催

日時：令和4年10月12日（水）

内容：「取り組み課題の検討（移動困難者対策：どこバス説明会の開催）」等

鱒浦町内会長と打合せ

日時：令和4年10月14日（金） 内容：「どこバス説明会の実施に向けた内容検討及び調整」等

鱒浦町内会長と打合せ

日時：令和5年1月11日（水） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」等

■協議体開催

日時：令和5年1月31日（火） 内容：「どこバス説明会の内容検討（4/19開催決定）」等

⑧南部地区

南部地区では、農家の繁忙期を避け冬期間で住民との話し合いを進めている。コロナ禍においても活動を継続的に活動し続けている老人クラブを関係機関が訪問し、情報収集や意見交換等を行い、見えてきた課題を踏まえ地域づくりに向けた取り組みを検討することとなった。

地区連会長と打合せ

日時：令和4年10月31日（月） 内容：「協議体開催日程調整」「協議体の進め方」等

■協議体

日時：令和4年12月14日（水） 内容：「取り組み検討（老人クラブ等の訪問調査の実施）」等

地区連会長と打合せ

日時：令和5年3月29日（水） 内容：「協議体開催日程調整」「協議体の進め方」等

⑨西網走地区

西網走地区では、地区が広範囲であり地域の状況等も大きく異なることから、地区内にある町内会・区会に意向確認を行った結果、2つのエリアで進めることとなった。

〔卯原内町内会〕

卯原内町内会では、過去に行ったアンケート調査の結果等から「買い物困難」の課題が見えてきた。協議体で検討の結果、移動販売車カケルの駐車場所増設に向けた調査を進めていくこととなった。

■協議体

日時：令和4年4月15日（金）

内容：「取り組み経過の説明」「協議体メンバーの選出」「意見交換」「今後の進め方」等

卯原内町内会長と打合せ

日時：令和4年6月8日（水） 内容：「協議体開催日程調整」「今後の進め方」等

<p>■協議体 日時：令和4年8月26日（金） 内容：「他地区の活動事例紹介」「協議体メンバー追加」「今後の具体的な取り組み検討」等</p>
<p>■協議体 日時：令和4年11月25日（金） 内容：「移動販売車カケルのニーズ調査実施」「その他の取り組みの実施検討」等</p>
<p>★移動販売車カケルのニーズ調査 日時：令和4年12月1日～25日 内容：「町内会と連携した調査（移動販売車カケル駐車場所増設に向けた調査）」</p>

〔二見ヶ岡区会〕

二見ヶ岡区会では、地区の関係者への事業説明や意見交換を行い、協議体の設立については了承いただいております。地域の関係者の皆様のご意見を基に協議体の開催に向けた調整を行っている。

<p><input type="checkbox"/>二見ヶ岡区長と打合せ 日時：令和4年6月8日（水） 内容：「協議体開催日程調整」等</p>
<p><input type="checkbox"/>二見ヶ岡区長と打合せ 日時：令和4年10月25日（火） 内容：「地区の状況確認」「協議体開催日程調整」等</p>
<p><input type="checkbox"/>二見ヶ岡区長と打合せ 日時：令和4年6月8日（水） 内容：「地区内での協議内容の確認」「協議体開催日程調整」等</p>

⑩桂町地区

桂町地区では、桂町住民センター運営委員会が協議体を担うことでの了承をいただき、協議の場づくりに向け準備を進めていたが、コロナの影響により延期となった。今後も継続的に相談をさせていただくこととする。

<p><input type="checkbox"/>地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年7月4日（月） 内容：「協議体の構成に関わる話し合いの実施（8/6開催）」等</p>
<p><input type="checkbox"/>地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年8月1日（月） 内容：「話し合い日程の再調整」等</p>
<p><input type="checkbox"/>地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年1月6日（金） 内容：「話し合いの日程調整」「今後の進め方」等</p>

⑪鱒浦地区

鱒浦地区では、地区連を基盤に取り組みを進められないか継続的に関係者への打診を行い、協議体を設立することができた。協議体で検討した結果、地域課題の把握に向けた調査を進めていくこととなった。

<p><input type="checkbox"/>地区連会長と打合せ 日時：令和4年4月25日（月） 内容：「生活体制整備事業協議体の設立検討」「協議体構成名簿（案）」「今後の進め方」等</p>
<p><input type="checkbox"/>地区連会長と打合せ 日時：令和4年5月16日（月） 内容：「今後の進め方」「地区連内での担当者の設置（事務局長）」等</p>
<p><input type="checkbox"/>地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年5月20日（金） 内容：「今後の進め方」「協議体の設立に向けた地区内での説明」等</p>
<p><input type="checkbox"/>地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年5月24日（火） 内容：「地区連総会における事業説明の実施」等</p>
<p>■鱒浦地区連総会開催 日時：令和4年6月6日（月） 内容：「生活支援体制整備事業説明」「意見交換」「今後の進め方」等</p>
<p>■鱒浦地区連事業説明 日時：令和4年7月5日（火） 内容：「鱒浦地区協議体設立」「地域課題の把握」「今後の進め方」等</p>
<p><input type="checkbox"/>なでしこふれあい会 正副会長と打合せ 日時：令和4年7月15日（金） 内容：「生活支援体制整備事業説明」「協議体構成メンバー打診」等</p>

□羽衣シルバー会長と打合せ 日時：令和4年7月21日（木） 内容：「生活支援体制整備事業説明」「協議体構成メンバー打診」等
□羽衣シルバー会長・婦人部長、ふれあいの家会長と打合せ 日時：令和4年7月22日（金） 内容：「生活支援体制整備事業説明」「協議体構成メンバー打診」「意見交換」等
□羽衣町内会長と打合せ 日時：令和4年7月25日（月） 内容：「生活支援体制整備事業説明」「協議体構成メンバー打診」等
□地区連会長と打合せ 日時：令和4年9月16日（金） 内容：「地区内での協議結果の報告」「今後の進め方」等
□地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年9月20日（火） 内容：「地区内での協議結果の報告」「今後の進め方」等
□地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年12月1日（木） 内容：「参加状況の報告」「協議体の進め方」等
■第1回協議体開催 日時：令和4年12月6日（火） 内容：「協議体設立」「地域課題の把握（アンケート実施）」「今後の進め方」「意見交換-」等

⑫南東・南西地区

南東・南西地区では、地域の核となる地区連合町内会が組織されておらず、協議体未設立で取り組みが進んでいない状況にある。今回、理解を深め、協議体設立のきっかけづくりとしていただけるよう、地域の関係者に「令和4年度支え合いの地域づくり研修会」の案内を行い、参加を呼びかけた。

地域の実情を踏まえ、今後も継続的に地域の関係者へ相談をさせていただくこととする。

⑬潮見地区

潮見地区では、地域の実情を踏まえ2つのエリアで進める。

潮見地区

潮見地区では、前年度に実施した「潮見地区暮らしのアンケート調査」の結果を踏まえ、住民から一番多く地域課題として挙がっていた「除雪」をテーマに設定。「地域で支え合う・助け合う」を柱に、企画内容の検討を重ね「除雪研修会」を開催した。

□地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年 5月26日（木） 内容：「協議体での検討案件（アンケート結果を踏まえた地域課題の解決）」等
■協議体 日時：令和4年 6月22日（水） 内容：「地域課題解決に向けた取り組みの検討（除雪問題に向けた研修会の開催）」等
□地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年 6月24日（金） 内容：「協議体開催日程調整」「今後の進め方」等
■協議体 日時：令和4年 8月 2日（火） 内容：「研修会（“高齢者” 大変な除雪をみんなで支援）の開催検討」「住民への周知」等
■協議体 日時：令和4年 9月20日（火） 内容：「研修会の運営に関する協議」等
★研修会「“高齢者” 大変な除雪をみんなで支援」開催 日時：令和4年10月 1日（土） 内容：「生活支援体制整備事業の説明」「実践発表（地域の支え合いで除雪支援）」「高齢者等除雪サービス事業説明」等
□地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年10月11日（火） 内容：「協議体開催日程調整」「今後の進め方」等

□地区連事務局長と打合せ 日時：令和4年12月6日（火） 内容：「協議体メンバー変更対応」「今後の進め方」等
□地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年2月3日（金） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」等
■協議体 日時：令和5年3月7日（火） 内容：「協議体メンバー変更対応」「令和4年度事業報告」「令和5年度の取り組み検討」等
□地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年3月30日（木） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」等

潮見ヶ丘地区

潮見ヶ丘地区では、地域の関係者への相談や状況確認を行っている。今後も継続的に相談をさせていただくこととする。

□老人クラブ会長と打合せ 日時：令和5年1月25日（水） 内容：「地区内の状況確認」等
□老人クラブ会長と打合せ 日時：令和5年3月6日（月） 内容：「地区での取り組みの推進に向けた対応策の検討」等

⑭つくしヶ丘地区

つくしヶ丘地区では、協議体が中心となり地域課題の検討を行った結果、3つのテーマ（「健康で明るいまち」「治安の良いまち」「環境の良いまち」）で取り組みを進めることとなった。今年度は、その中から「治安の良いまち」を取り上げ、つくしヶ丘地区を担当する駒場交番と連携し、身近に潜む犯罪等を知り、その対応等を学ぶための研修会を開催した。

□地区連会長と打合せ 日時：令和4年4月22日（金） 内容：「協議体開催日程調整」等
□地区連会長と打合せ 日時：令和4年5月17日（火） 内容：「会長との打合せ会議の日程調整」「今後の進め方」等
□地区連会長と打合せ 日時：令和4年5月19日（木） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」等
■協議体 日時：令和4年6月16日（木） 内容：「地域課題の解決検討（防犯をテーマに研修開催）」等
□関係者会議（協議体の担当者、駒場交番） 日時：令和4年8月3日（水） 内容：「防犯をテーマにした研修会の内容検討」「開催日程の調整」等
■協議体 日時：令和4年9月15日（水） 内容：「共につくろう安心なつくしヶ丘の内容検討」「住民への周知」「役割分担」等
★防犯研修会「共につくろう安心なつくしヶ丘」 日時：令和4年11月19日（土） 内容：「防犯に関する講話」「事案報告」「意見交換」「模擬体験」等
□地区連会長と打合せ 日時：令和5年1月17日（火） 内容：「協議体開催日程調整」「協議体メンバーの追加」等

⑮駒場地区

駒場地区では、前回打診した際に「現段階では事業の必要性を感じない」とのご意見をいただき取り組みを進められていない。

今回、理解を深め、協議体設立のきっかけづくりとしていただけるよう、地域の関係者に「令和4年度支え合いの地域づくり研修会」の案内を行い、参加を呼びかけた。今後も根気強く継続して交渉を続けていくこととする。

地区連会長と打合せ

日時：令和4年11月27日（日）

内容：「事業実施の打診」「支え合いの地域づくり研修会への参加及び関係者への周知」等

⑩天都山地区

天都山地区では、地区連役員会が協議体を担い、取り組みを進めている。天都山地区に事務所を置き活動している福祉事業所にも協議体に参加いただき地域との連携に向けた意見交換を行った。

また、天都山地区で開催した地区防災訓練の際、会場に福祉車両を配置いただき体験会を行った。

地区連事務局長と打合せ

日時：令和4年4月6日（水） 内容：「協議体開催日程調整」「協議内容の検討」「地域内連携」等

■協議体

日時：令和4年4月20日（水）

内容：「前回会議報告」「協議体メンバーの変更」「地域の福祉事業所との意見交換」等

地区連事務局長と打合せ

日時：令和4年7月8日（金） 内容：「協議案件の検討」「天都山地区防災訓練」等

★地区防災訓練

日時：令和4年7月17日（土）

内容：防災研修会と併せて、地区の福祉事業所と連携し福祉車両の体験会を実施

地区連事務局長と打合せ

日時：令和4年7月20日（水） 内容：「協議体開催日程調整」「協議案件の検討」等

■協議体

日時：令和4年7月29日（金）

内容：「どこバス事業」「地区防災研修会の結果報告」「今後の取り組み」等

⑪新町地区

新町地区では、地区の様々な関係者と協議や意見交換を重ね、協議体を設立することができた。

協議体で検討した結果、地域課題の把握に向け、「新町地区暮らしのアンケート調査」の実施を行い、見えてきた課題の解決に向け協議を進めていくこととなった。

地区連事務局長と打合せ

日時：令和4年4月18日（月） 内容：「地区内の状況把握」「今後の進め方」等

地区連事務局長と打合せ

日時：令和4年5月11日（水） 内容：「協議体開催日程調整」「協議体の内容」等

■協議体

日時：令和4年6月23日（木）

内容：「生活支援体制整備事業の説明」「地域課題の把握」「意見交換」「今後の進め方」等

地区連関係者と打合せ

日時：令和4年8月1日（月） 内容：「アンケート調査用紙の内容確認（地域課題の把握）」等

町内会長への協力依頼と内容説明

日時：令和4年8月1日（月）

内容：「各町内会長を訪問し、アンケート調査実施の内容説明と協力依頼」

★新町地区 暮らしのアンケート調査

日時：令和4年8月22日～9月16日

内容：住民が抱える地域課題を把握し、問題解決に向けた取り組み検討を行うアンケート調査

調査：新町地区6町内会を通じてアンケート調査用紙を配布

回収：郵送（返信用封筒） ※配布数：460通／回答数：72通／回収率：15.65%

地区連事務局長と打合せ

日時：令和4年11月28日（月） 内容：「今後の進め方」等

地区連事務局長と打合せ

日時：令和4年12月8日（木） 内容：「状況確認」等

□地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年 1月10日（火） 内容：「状況確認」「今後の進め方」等
□地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年 1月17日（火） 内容：「状況確認」「協議体開催日程調整」「役員変更に伴うメンバー変更」等
□地区連事務局長と打合せ 日時：令和5年 2月 3日（木） 内容：「状況確認」「協議体開催日程調整」等
■協議体 日時：令和5年 3月 8日（水） 内容：「暮らしのアンケート調査の結果報告及び検証」「取り組み事業の検討」等

4. 関係機関等との連携

(1) 地域課題の解決に向けた連携

関係機関と連携を行い、様々な活動や諸会議にも積極的に参加し、情報共有やネットワークの拡大、地域課題の解決に向けて連携を行いました。

実 施	随時
内 容	「地域ケア会議への参加」「高齢者ふれあいの家訪問・聞き取り」「老人クラブ訪問・聞き取り」「地域主催イベントへの参加」等

(2) ボランティア活動の促進

網走市社会福祉協議会で取り組む網走市ボランティアセンター事業と連携を図り、次の取り組みを行いました。

実 施	<p>(1) ボランティア登録制度の充実</p> <p>①「ボランティア登録の促進」 社協広報誌やSNS、FMあばしり等を様々なツールを活用しボランティア登録制度の周知を行った。 若い世代のボランティアグループ設立支援を行った。(令和5年4月設立・登録予定)</p> <p>②「登録ボランティアのリスト化」 登録ボランティアの情報を管理しやすいようデータのリスト化を行った。</p> <p>③「ボランティア斡旋」 ボランティア斡旋相談を随時対応。※コロナ禍に伴い斡旋依頼が激減</p> <p>(2) 企業ボランティアの発掘及び協力依頼 網走商工会議所と連携し、市内企業へ「企業ボランティア募集チラシ」の配布を行った。「企業ボランティア募集ポスター」を作成し、市内協力施設や店舗等に掲示依頼を行った。 実績：企業ボランティア 1団体登録</p> <p>(3) ボランティア登録者への活動情報の提供 ボランティア情報誌「夢ポケット」を2カ月に1回発行し、ボランティア活動情報及びボランティア募集情報の提供を行った。 ボランティア登録の際、活動希望内容を踏まえ情報提供を行っている。 ボランティアガイドブックを作成し、情報提供を行っている。 ボランティア斡旋依頼を踏まえ、ボランティアコーディネーターから活動希望者に情報提供及び協力依頼を行っている。</p>
-----	--

Ⅱ. 相談支援事業の推進

1. 生活困窮者相談支援

(1) 生活困窮者自立相談支援事業の受託運営

当事業は平成26年度から受託しており、令和4年度新規の相談件数は46件で、令和3年度の79件に比べ33件の減少となりました。令和3年度は新型コロナウイルス特例貸付において、総合支援資金の再貸付を行う際には、自立相談支援機関の相談支援が必須とされたことにより件数が多かったものです。

相談は、コロナによる経済的困窮に加え、精神疾患を患っている方、多重債務者、家族のひきこもり、離婚に至るまでの支援など多岐にわたっています。

また、令和4年度から就労準備支援事業、及び、家計改善支援事業の受託を開始すると共に、スマートフォンなどを利用する方が手軽に相談できるようLINEを利用した相談ツールを開始しました。

	新規相談内容											計
	家計	負債	就労	教育	健康	介護	近隣トラブル	ひきこもり	住居	家族問題	その他	
令和2年度	46	0	4	0	0	2	0	0	2	4	0	58
令和3年度	58	5	3	0	5	2	0	1	1	3	1	79
令和4年度	26	6	2	0	2	1	1	2	2	2	2	46

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により休業等で収入が減少した世帯への貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）。

- ①緊急小口資金貸付実績 5件 1,000,000円（前年度57件 10,900,000円）
- ②総合支援資金貸付実績 8件 3,900,000円（前年度89件 47,150,000円）

(3) 生活福祉資金及び総合支援資金貸付事業の受託運営（北海道社会福祉協議会貸付）

- ①緊急小口資金貸付実績 1件 100,000円（前年度1件 100,000円）
- ②福祉資金貸付実績 1件 168,000円（前年度1件 167,000円）

(4) 福祉援護資金貸付事業の実施

福祉援護資金貸付実績 10件 245,000円（前年度12件 210,000円）
令和2年度より生活費緊急支援資金とボランティア援護資金は統合されました。

(5) 安心サポート事業の実施

令和4年度実施実績 2件 20,910円（前年度4件 70,707円）

令和3年度より、生活困窮により医療費、食料購入費、光熱水費等が負担できない方に対しご本人に代わってお支払いする安心サポート事業をはじめました。

(6) フードドライブ事業の実施

経済的に困窮された方への歳末の食糧支援の取り組みとして、フードドライブ事業を行いました。寄付された人数は個人49人、団体7団体で食品等の総重量は641kgに上りました。12月12日から37世帯の方に配布し、一部は障がい福祉施設に寄贈いたしました。

2. 権利擁護

(1) 成年後見相談支援事業の受託運営

○市民後見人支援活動

市民後見人連絡会議を開催し、担当ケースの支援について情報交換、意見交換しました。

○市民後見人フォローアップ研修会・ケース検討会議の開催

市民後見人フォローアップ研修会

日時	テーマ	場所等	出席者
5月18日	住民票・戸籍について	エコセンター	15名
7月6日	税金の知識について	エコセンター	11名
11月8日	法人後見について、死後事務について	エコセンター	18名
12月22日	後見制度支援預金について	エコセンター	17名
1月19日	成年後見人の弁護士選任ケースの紹介	エコセンター	15名
3月9日	津別町の後見制度	エコセンター	15名

ケース検討会議

日時	議題	場所等	出席者
4月8日	参加者によるフリートーク	福祉センター	11名
5月13日	体験伝達：「死後事務」を終えて	福祉センター	10名
6月15日	網走市成年後見制度利用支援事業実施要綱一部改正について 体験発表：「死後事務」を終えて	福祉センター	12名
7月20日	生活保護受給者の支援について 医療同意について	福祉センター	8名
8月26日	成年後見人へのキャッシュカード発行について	福祉センター	8名
9月14日	第二期成年後見制度利用促進計画について	福祉センター	8名
10月18日	家庭裁判所への報告について	福祉センター	8名
11月25日	参加者によるフリートーク	福祉センター	5名
1月24日	VTR 視聴	福祉センター	5名
2月14日	フリーディスカッション	福祉センター	10名
3月14日	1年間を振り返って	福祉センター	6名

○相談支援事業

相談件数54件（前年度44件）

相談内容内訳（複数回答）

相談内容	制度概要	申立手続	金銭管理	財産管理・処分	その他	合計
件数	21	16	9	4	4	54

○運営協議会の開催

回数	開催日	主な案件・協議事項
第1回	6月27日	・新任委員の紹介 ・令和3年度成年後見相談支援事業 事業報告・決算報告
第2回	10月18日	・親族申立て案件に係わる市民後見人候補者推薦依頼について
第3回	12月8日	・本人申立て案件に係る後見人候補者推薦について ・市民後見人による受任及び市民後見人の推薦に関する基準の一部改正（案）について

第4回	3月28日	・令和5年度網走市成年後見相談支援事業計画と予算について 市民後見人による受任及び市民後見人の推薦に関する基準の一部 改正（案）について ～前回からの継続審議～
-----	-------	--

○研修会等の参加

日時	講演会	場所等	出席者
7月28日	令和4年度成年後見制度事業担当職員研修／ 成年後見制度事業担当職員連絡会議	Zoom	山西
8月17日 ～ 9月28日	令和4年度「北海道社会福祉協議会・成年後見 センターバックアップセンター市民後見人養成講座」	Zoom	小西
11月9日	令和4年度オホーツク管内市民後見人活動交流会	Zoom	山西、小西、市民後見人3名
11月29日	家事関係機関との連絡協議会	Zoom	山西、小西
1月25日	令和4年度高齢者の権利擁護を考える集い	Zoom	山西、小西
1月27日	北見地域成年後見中核センター視察	北見市社会福祉協議会	山西、酒井 小西
2月9日 ～10日	令和4年度日常生活自立支援事業専門員実践 力強化研修会Ⅱ	新霞ヶ関ビル	山西
3月2日	K・ねっと全国セミナー 「最後まで自分らしく」を支えていくために ～福祉関係者のための任意後見の基礎知識～	Zoom	山西、小西
3月3日	令和4年度権利擁護支援シンポジウム いま、成年後見について考える	Zoom	山西
3月24日	美幌町社会福祉協議会視察	美幌町しゃき っとプラザ内	山西、小西

(2) 日常生活自立支援事業の受託運営(道社協委託事業)

福祉サービス利用援助事業として業務を行ない、当年度で7年目を迎えました。

○契約者数

年度開始時契約者数	新規契約	年度末時契約者数
3名	1名	2名

○自立生活支援員登録者数 4名(令和5年3月31日現在)

3. その他

(1) 災害見舞金の支給

歳末たすけあい募金の助成金を財源に、火災による被災者に対して見舞金を支給する事業を行ないました。

支給実績：火災1件、10,000円(前年度0件)

(2) 身体障がい者生活器具給付事業の実施(ストーマ等)

行政制度にない隙間の部分を補完することを目的として実施しました。

給付実績：ストーマ17件(前年度10件)1人10,000円、合計170,000円

Ⅲ. 在宅福祉事業の推進

(1) 指定訪問介護事業所の経営

○訪問介護事業、訪問型サービス事業（第1号訪問介護）

サービス提供実績（延訪問数）

介護度 年総計	事業 対象	要支援		要 介 護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
令和2	887	552	977	1,001	2,065	1,026	1,170	5	7,683	21.0	2.0
令和3	849	339	1,156	797	1,500	955	710	102	6,408	17.6	1.9
令和4	798	520	1,228	980	1,327	895	23	8	5,779	15.8	1.4

○障がい福祉サービス事業（指定居宅介護）

サービス提供実績

年度	延訪問数（回）	1日平均（回）
令和2年度	1,612	4.4
令和3年度	661	1.8
令和4年度	690	2.2

(2) 指定地域密着型通所介護事業所の経営

○地域密着型通所介護事業、通所型サービス事業（第1号通所介護）

サービス提供実績（延人員）

介護度 年総計	事業 対象	要支援		要 介 護					計	1日 平均	平均 介護 度
		1	2	1	2	3	4	5			
令和2年度	750	212	556	552	669	479	236	66	3,520	13.8	1.8
令和3年度	581	66	494	733	838	194	110	48	3,064	11.7	1.6
令和4年度	303	23	469	755	919	323	60	78	2,930	11.2	1.7

○コロナ禍が要因で新規受入れが少なく、利用者数が大幅に減少しました。

○網走市老人デイサービスセンターの施設について、指定管者理制度に基づく管理業務を行いました。

(3) 指定共同生活援助(外部サービス利用型)の経営

○「グループホーム ひまわり」サービス管理責任者を中心に適切に運営を行ないました。

サービス提供実績 ※現入居者5名（入居定員7名）

年度	延利用日数 （日）	平均利用者数 （人）
令和2年度	2,179	5.97
令和3年度	1,866	5.11
令和4年度	2,007	5.92

○ミーティングの実施

期日	参加者	内容
毎週金曜日	入居者、関係者	参加者それぞれの生活状況の確認や助言等を行う。

○世話人の質の向上を図り、入居者のニーズを踏まえた自立支援の提供に努めました。

○内部研修を実施しました。

○年2回の避難訓練を実施しました。

(4) 受託事業

- 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業の受託運営（シルバーハウジング事業）
生活援助員による生活相談など日常生活援助を行いました。入居数 29世帯（R5.3.31現在）
利用者のニーズを踏まえた生活指導に努めました。
- 家族介護者交流事業（家族介護者リフレッシュのつどい）
マスクの着用、手指の消毒、3密を回避して開催しました。札幌市よりキリガミスト千陽氏
をお招きした他、リフレッシュ椅子体操などでリフレッシュいただきました。

期日	場所	参加者
11月12日	総合福祉センター	33人（家族13、要介護者3、コスモス3、社協6、包括3、市4、講師）

IV. 法人運営事業の推進

1. 社協事業

役職員等が本会の「経営理念」を常に念頭に置き、この理念に基づく事業の推進を図りました。

(1) 理事会・評議員会の定例開催等

安定した事業経営や業務の円滑な執行に資するために、理事会等を開催しました。

また、社会福祉法人制度改革により必置となった評議員会を適時開催し、事業運営の透明性の向上に努めました。

月日	名称	主な案件	出席者
5月24日	決算監査会	令和3年度決算監査	監事2名
6月7日	第1回理事会	外部監査結果報告、社会福祉充実計画の策定について、令和3年度事業報告、令和3年度収支決算報告、令和3年度監査報告、理事及び評議員候補者について、定時評議員会の招集事項について	理事10名 監事1名
6月22日	第1回評議員会	令和3年度事業報告、令和3年度収支決算報告、令和3年度監査報告	評議員 12名他
9月15日	第2回理事会	経営分析報告、会務報告、網走市社会福祉協議会会長表彰について、令和4年度第2回評議員会の目的事項について	理事12名 監事2名
9月30日	第2回評議員会	監事の選任について	書面決議
10月21日	第1回監査会	上半期の運営状況について、総務課の業務監査及び会計	監事2名
12月8日	第2回監査会	地域福祉課の業務実施状況について	監事2名
12月12日	第3回理事会	会務報告、カレンダー・リサイクル市の開催について、呼人静湖園の取り壊しについて	理事13名 監事2名
3月9日	第3回監査会	在宅福祉課の業務監査及び会計、介護事業の状況について	監事2名
3月10日	第4回理事会	会務報告、監査報告、就業規則・給与規程等の一部改正、ひまわり運営規程の廃止について、呼人老人ホーム静湖園跡地の有効活用について、災害ボランティアセンター運営マニュアルについて、令和4年度補正予算案、令和5年度事業計画案、令和5年度収支予算案、令和4年度第3回評議員会の開催について他	理事12名 監事2名
3月28日	第3回評議員会	令和4年度補正予算案について、令和5年度事業計画案について、令和5年度収支予算案について	評議員 12名他

(2) 道社協・管内社協の会議等

月日	事業名	会場	参加者
4月26日	管内市町村社協連絡協議会ブロック会議	エコセンター	鬼塚会長
6月10日	全道市町村社協会長事務局長研究協議会	オンライン	鬼塚会長・山崎局長

6月14日	管内市町村社協連絡協議会ブロック代表会議	エコセンター	鬼塚会長
7月8日	管内社協連絡協議会会長事務局長会議	エコセンター	鬼塚会長・山崎局長
7月14日	管内社協職員連絡協議会総会	エコセンター	山中課長
2月27日	管内社協会長会正副会長会議	オンライン	鬼塚会長

- (3) 永年役員・評議員功労者の表彰（社協会長表彰）
当年度該当者なし

- (4) 地域福祉事業功労者の表彰（社協会長表彰）
社会福祉事業の推進に寄与された方に対して、その功績を称えて顕彰しました。

永年ボランティア活動	中河るみ子、山本政子、三浦美咲子、高橋朋子、柴田久美子
------------	-----------------------------

5名（敬称略・順不同）

- (5) 情報開示

①社協情報紙「ふれ愛めーる」を全戸配布しました。

発行日	機関紙名	付記
7月20日	ふれ愛めーる第117号	全戸配布
3月20日	ふれ愛めーる第118号	全戸配布

②事業計画、事業報告、収支予算、収支決算を機関紙及びホームページに掲載しました。

③FMあばしりにて月1回「社協のほっと便」を放送しました。（毎月第1木曜日）

④ホームページおよびFacebookを更新しました。（Facebook新規投稿173件）

- (6) 経営基盤の強化

①社会福祉充実残額の算定と計画立案の要否確認

社会福祉充実残額算定の結果、計画立案の必要がありませんでした。

②中期財政計画の検討（職員処遇改善費、退職金積立、事業人件費、固定資産等更新）
当初の計画どおり、退職金等を積立てました。

③会員会費制度の整備充実

年度	一般会員	特別会員	賛助会員	合計
R2	1,108,500円	389,000円	676,500円	2,174,000円
R3	1,095,800円	390,000円	676,500円	2,162,300円
R4	1,093,650円	402,000円	695,300円	2,190,950円

④共同募金配分金等の寄付金による事業の適正な実施

赤い羽根共同募金助成金および歳末たすけあい募金を活用して事業を実施しました。

○赤い羽根共同募金助成金 213,512円

内容 広報啓発事業 173,512円（前年度 680,791円）

ふれあいクリスマスパーティ支援事業 40,000円

○歳末たすけあい募金助成金 995,232円（前年度913,221円）

内容

	事業名	金額	備考
1	ボランティアセンター運営事業	400,000円	
2	被災者世帯見舞金贈呈事業	100,000円	
3	広報紙発行事業	170,232円	
4	日常生活のちょこっとお手伝い事業	100,000円	
5	ふれ愛ひろば網走開催事業	90,000円	
6	フードドライブ事業	60,000円	
7	事務経費（共同募金会へ）	75,000円	

- ⑤高額寄付者への感謝状贈呈（社協会長顕彰） 令和4年度1件（前年度4件）
- ⑥職員処遇改善計画の維持管理に努めました。

(7) 法令遵守の徹底

(8) 備品貸出事業

地域福祉の推進を目的として、地域の行事やイベントで活用可能な備品の貸し出しを行ないました。

当年度は、テント等の行事用備品の貸し出しが増加しました。（前年度32件）

○利用実績

件数	主な貸出備品／利用者
34	プロジェクター・スクリーン、テント、かき氷機／老人クラブ、福祉施設・団体

(9) 事務局体制の整備

- ①事務局会議を定例開催しました。
- ②事業内容・規模に応じた職員体制の確保に努めました。
- ③職員の資質向上のため職員研修の強化に努めました。
社協職員先進地域福祉活動視察研修参加1名（岩手県宮古市他）
- ④独自研修を開催しました。（年4回）
- ⑤Zoom等オンラインにて各種研修会等に参加しました。（24回）

2. 受託事業

(1) 網走市総合福祉センターの指定管理受託

駐車場が狭いという課題があり、良い解決策がないまま利用者の皆さまにご不便をおかけしているところですが、指定管理者制度に基づき管理者として、適切に管理しました。

当年度はコロナ禍が落ち着き傾向にあったため、過去2年と比較して利用者数が大幅に増えました。なお管理にあたっては、利用者の検温を実施した他、消毒液の設置や、部屋の使用後の消毒作業を徹底する等、感染症予防に努めました。

項 目		R2年度	R3年度	R4年度
団 体	団体数	493	655	1,016
	人 数	5,233	5,599	7,814
個 人	老 人	5,023	3,839	5,159
	母 子	0	0	0
	身 障	1,841	1,192	2,032
	精神障がい等	224	138	170
	小 計	7,088	5,169	7,361
合 計		12,321	10,768	15,175

○事業等

事業名	日にち	内容
福祉センター感謝祭	令和5年 1月8日（日）	演芸発表（カラオケ・踊りなど）、バザー、抽選会 ※別会場でカレンダー・リサイクル市
消防訓練 （避難・通報・消火訓練）	6月22日 11月2日	網走市老人デイサービスセンター、網走市子ども 発達支援センターと合同で実施

(2) 網走市老人デイサービスセンターの指定管理受託

(3) 網走市福祉バス運行管理事業の受託

項 目	R2年度	R3年度	R4年度
運行回数	12	48	58
利用人員	222	1,383	1,246

(4) 団体事務の運営

各団体役員および構成員との連携を図り、事務等について適切に行ないました。

(●印は市からの業務委託団体)

1	●網走市町内会連合会	6	網走市暴力追放推進協議会
2	●網走市老人クラブ連合会	7	●網走市連合遺族会
3	●網走地区防犯協会	8	●網走市身体障害者福祉協会
4	網走地区暴力追放推進協議会	9	●くるみ里親会網走支部
5	●網走市防犯協会	10	網走市共同募金委員会